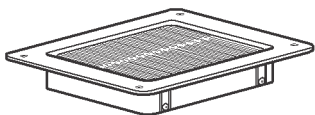


## KoldLok®フリーアクセスフロア用一体型グロメット

### AR7720、AR7730、AR7740

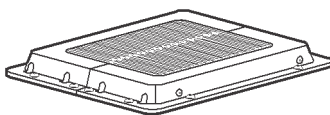
KoldLokフリーアクセスフロア用グロメット



一体型グロメット  
AR7720 (10)

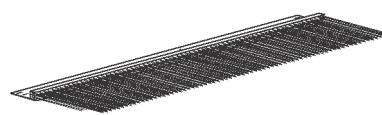
内容物:

**A** (40)、**C** (1)、**G** (1)



表面取付型グロメット  
AR7730 (10)

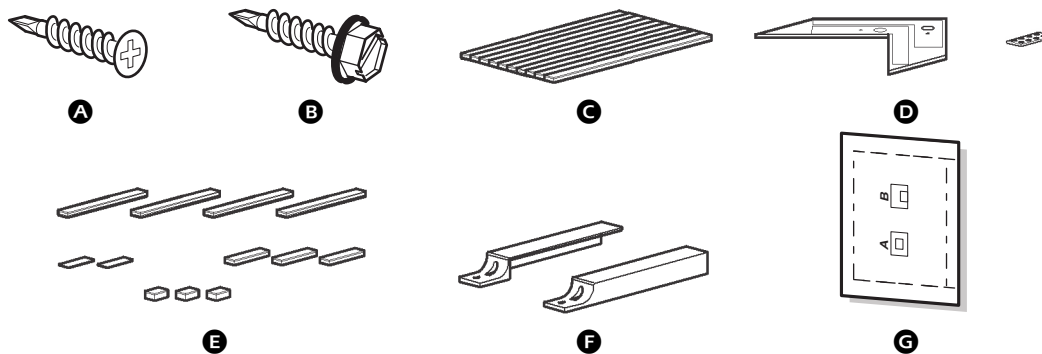
内容物: **C** (1)、**D** (10)



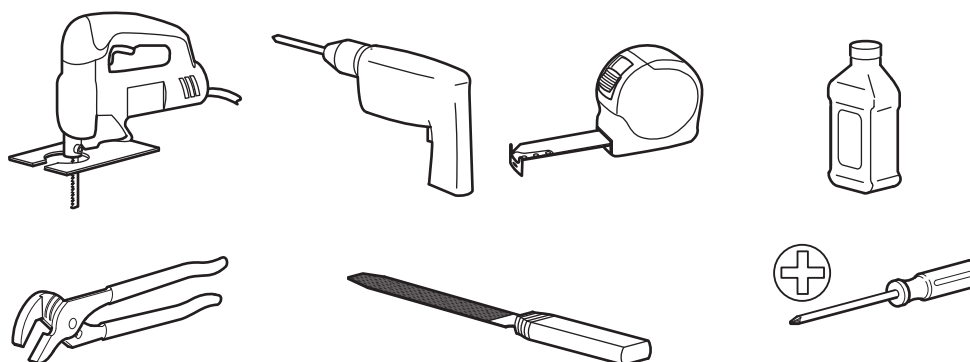
拡張グロメット  
AR7740 (10)

内容物: **B** (50)、**E** (10)、**F** (10)

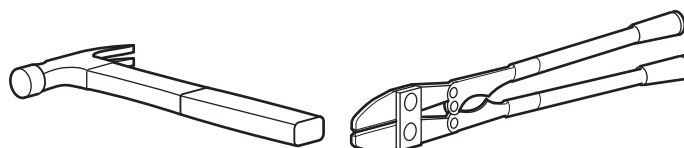
パッケージの内容



同梱されていない必要な工具



AR7740 - 修正作業に必要なこの他のツール



# 一般情報

## ケーブルを効果的に配線する

フリーアクセスフロアのプレナムからエアロスを最小限に抑えられるよう、KoldLokグロメット内のブラシの中央線に沿ってケーブルを配線してください。

ケーブルに必要な緩みを持たせませす。ケーブルをきつく配線しすぎるとグロメットフィラメントが解離することがあり、この場合、V型のギャップが生じてフリーアクセスフロア下面からのエアロスが増加します。

## 機器の適切な冷却を維持する

機器メーカーからの適切な冷却維持のガイドラインに従うことを怠ると、機器が過熱状態になるおそれがあります。

ケーブルのカットアウト部をシールする前に、コンピュータ機器やキャビネットの空気取入側に対する通気が、有孔フロアタイルや格子などを使用して適切になっていることを確認してください。

コンピュータ機器およびキャビネットの空気取入側で適切な通気を確保することはユーザーの責任となります。

## フリーアクセスフロアのタイルのカットニング

フリーアクセスフロアタイルには各メーカーからの使用説明が付属しており、タイルのカットニングなどの修正に対する安全かつ適切な手順が記されています。

使用するツール、カット手順、カットしたタイルの負荷容量の仕様、およびフリーアクセスフロアタイルをカットした場合に必要な追加の床下サポートなどについては、メーカーの推奨に従ってください。

タイルをカットすると強度の定格が下がることにも留意してください。

KoldLok Extended Grommetを新しくカットした開口部に取り付ける場合は、事前にカットアウト部のトリミングを行ってください。

## 安全要件

フリーアクセスフロア環境での作業およびフロアタイル修正の作業では、作業スタッフは安全とリスク管理の通常慣行を把握していなければなりません。  
raised-floor environments and when modifying floor tiles.

通常の個人安全装具（安全メガネ、フェイスシールド、呼吸マスク、手の保護具、安全靴）の着用は安全上の要件となっています。

各施設の管理者は、これらの作業を行う要員に対して基本的な安全訓練を行い、必要なツールの安全な使用方法を徹底させる義務があります。

## 準備

フロアタイルは適切なワックスリムーバー（イソプロピルアルコールまたは同等品）できれいにする必要があります。タイルはすべて、塵や汚れを完全に除去してからKoldLokグロメットに取り付けてください。

# 寸法およびタイルのカッティング要件

型番	寸法	
	mm	インチ
<b>AR7720</b>		
全体 (W x D x H)	(279.00 x 210.00 x 41.00)	(11.00 x 8.25 x 1.63)
フリーアクセスフロア面からの高さ	3.00	0.13
ケーブル配線可能域	203.00 x 102.00	8.00 x 4.00
グロメットを取り付けるために必要なカットアウト :		
タイル内部	235.00 x 172.00	9.25 x 6.75
タイル端部のグロメットの長辺	235.00 x 191.00	9.25 x 7.50
タイル端部のグロメットの短辺	275.00 x 172.00	10.25 x 6.75
<b>AR7730</b>		
全体 (W x D x H)	279.00 x 209.00 x 29.00	11.00 x 8.25 x 11.13
フリーアクセスフロア面からの高さ (マウントシステム据付後)	29.00	1.25
シール後のカットアウト部最大サイズ	254.00 x 184.00	10.00 x 7.25
ケーブル配線可能域	210.00 x 102.00	8.25 x 4.00
<b>AR7740</b>		
シール後のカットアウト部最大サイズ	610.00 x 102.00	24.00 x 4.00
ケーブル配線可能域	559.00 x 64.00	22.00 x 2.50
床面からの高さ (マウントシステム据付後)	25.00	1.00

注意：フリーアクセスフロアタイルのどこにグロメットをつけるかについては、付属のカットアウトテンプレート⑥の図を参照してください。

# 取付

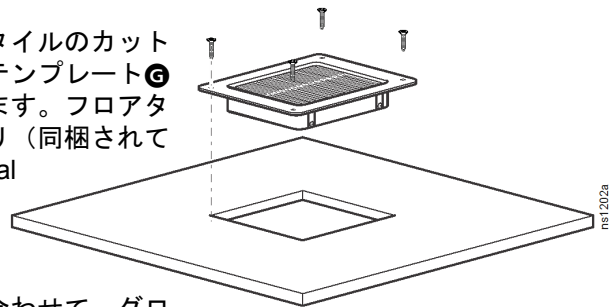
## KoldLok Integral Grommet (AR7720)

### 注意:

- ネジを締めつけすぎないようにしてください。
- フロアタイルのカッティング要件については、「フリーアクセスフロアのタイルのカッティング」(2ページ)を参照してください。

### タイル内部

1. タイルのカッティング要件に従ってフロアタイルのカットアウト部分サイズを判断し、カットアウトプレート**G**を参考にしてタイルのカットアウトを作ります。フロアタイルをカットした後のギザギザは金属ヤスリ(同梱されていません)で平らにします。KoldLok Integral Grommetを取り付ける際、カットアウト部のギザギザになっている縁をカバーする必要はありません。
2. フロアタイルの上面にフランジをぴったり合わせて、グロメットをフロアタイルに試験的にはめ込んでみます。引っかかる部分がないこと、グロメットフレームのすべての面が均一にはまっていることを確かめます。
3. グロメットがフロアタイルに正しく配置された状態で、No. 8セルフタッピングネジ**A**でグロメットをタイルにしっかり固定します。



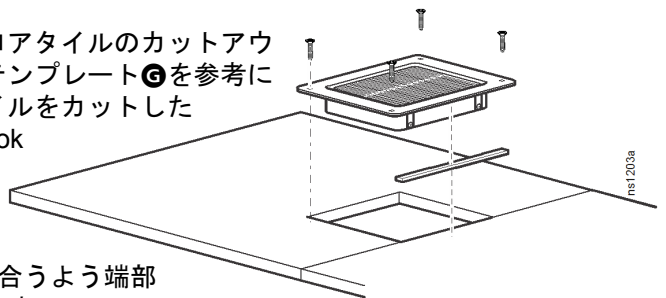
### タイル端部

#### グロメットの長辺端部

この取付ではタイルの端が空いていてサポートがないため、タイルのこの端にエアブロックとしてフォームインサートを添える必要があります。

フロアタイルの一辺にグロメットを合わせるようにタイルをカットしたためにタイルの端が空いている場合、グロメットの取付には付属のフォームストリップが必要です。グロメット下面のくぼみに合わせてフォームストリップを添えてください。

1. タイルのカッティング要件に従ってフロアタイルのカットアウト部分サイズを判断し、カットアウトプレート**G**を参考にしてタイルをカットします。フロアタイルをカットした後のギザギザ面を平らにします。KoldLok Integral Grommetを取り付ける際、カットアウト部のギザギザになっている縁をカバーする必要はありません。
2. グロメット底面の228 mm長のくぼみに合うよう端部取付用フォームストリップ**G**を延ばします。
3. フロアタイルの上面にフランジを合わせ、グロメットをフロアタイルに仮にはめ込んでみます。引っかかる部分がないこと、グロメットが均一にはまっていることを確かめます。
4. グロメットがフロアタイルに正しく配置された状態で、No. 8セルフタッピングネジ**A**でグロメットをタイルにしっかり固定します。



#### グロメットの短辺端部

KoldLok Integral Grommetは、短い方の辺をフロアタイルの端に合わせて取り付けることもできます。

1. 付属のカットアウトプレート**G**を参照し、タイルに257 x 171 mmの開口部をカットします。
2. 既述のクリーニングおよび固定方法に従ってください。

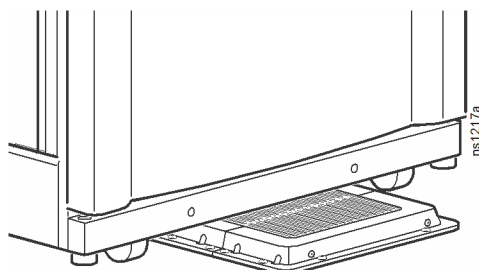
## KoldLok Surface Mount Grommet (AR7730)

KoldLok Surface Mount Grommetは同一の2つのセクションに分割できるようになっています。片方のセクションはフロアタイルに固定します。もう片方は、機器の移動、ケーブル再配線、タイルの取り外しなどを容易に行えるよう、外せるようになっています。

1. タイルのカットング要件に従ってフロアタイルのカットアウト部分サイズを判断し、タイルのカットアウトを作ります。

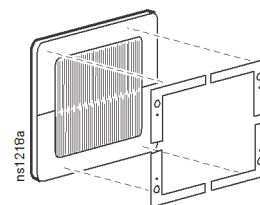
注意：フロアタイルのカットング要件については、「フリーアクセスフロアのタイルのカットング」(2ページ)を参照してください。

2. グロメットの固定される側と取り外せる側をそれぞれ確認します。必ずこの取り外せる方のセクションにアクセスできるよう取付を行ってください。

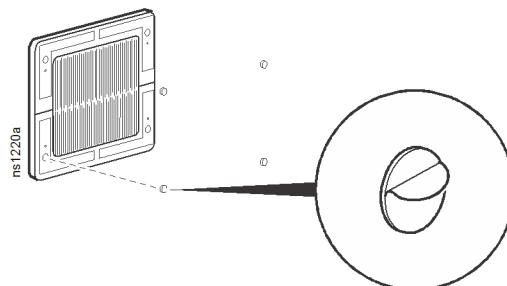


3. 床取付キット⑤に入っている両面粘着テープ(赤いストライプ)を固定される方のセクションに、そして片面粘着テープ(緑のストライプ)をもう片方のセクションに、それぞれ裏紙をはがしてから粘着面をグロメットの底にしっかり押しつけて貼り付けます。

フォームとグロメットの端がぴったり合うようにしてください。フォームのもう一方の裏紙は、グロメットをフリーアクセスフロアに取り付けるまでそのままにしておきます。



4. 床取付キット⑤の4つの打抜き孔にそれぞれESDボタンを挿入します。

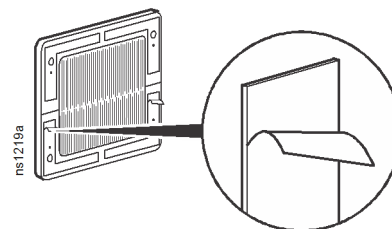


5. グロメットの端のボタンを押してグロメットの2つのセクションを引き離し、別々にします。

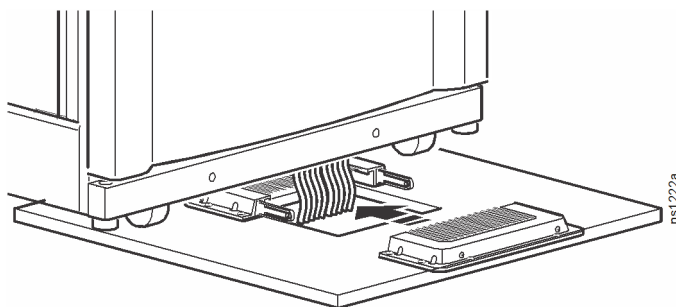
注意：グロメットの分離方法については、「KoldLok Surface Mount Grommetの取り外し」(6ページ)を参照してください。

6. 固定される方のセクションから残っている裏紙をはがします。

注意：ラックまたはキャビネット下面へのアクセスが限られている場合は、裏紙をはがす前に取付に適しているかを確認めます。



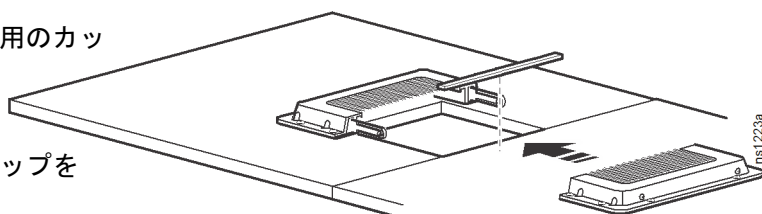
7. グロメットの固定側のセクションをケーブルの束の後ろに配置し、ケーブルとグロメットフィラメントの端を合わせます。グロメットの取り外せる方のセクションをケーブルの束の前に配置し、2つのセクションを合わせてグロメットを1つに戻します。



8. グロメットをフロアタイルに押しつけてタイル面にしっかり付着させます。
9. ケーブルに緩みがある場合は、フィラメントの露出した端が背になるようケーブルを調整します。

### タイル端部への取付

1. フロアタイルの端にケーブル用のカットアウト部をカットしてグロメットをタイルの枠内に取り付ける場合、床取付キット④に付属のフォームストリップを使用します。

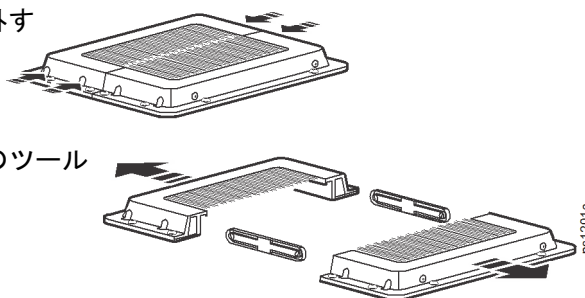


2. カットされたタイル端のむき出しになっている金属サポートにフォームストリップを合わせて、金属サポートとグロメット底部の間のエアブロックとなるようにします。

注意：フロアタイルの端にケーブル用のカットアウト部をカットしてあっても、グロメットが隣のタイルに重なるのであればフォームストリップは必要ありません。

### KoldLok Surface Mount Grommetの取り外し

1. グロメットの取り外せる方のセクションを外すには、結合バー両側のロックボタンを押したままで、このセクションを固定側のセクションからゆっくり引き離します。
2. フォーム接着剤はパテナイフなどのへら状のツールで穏やかに引き離して除去します。

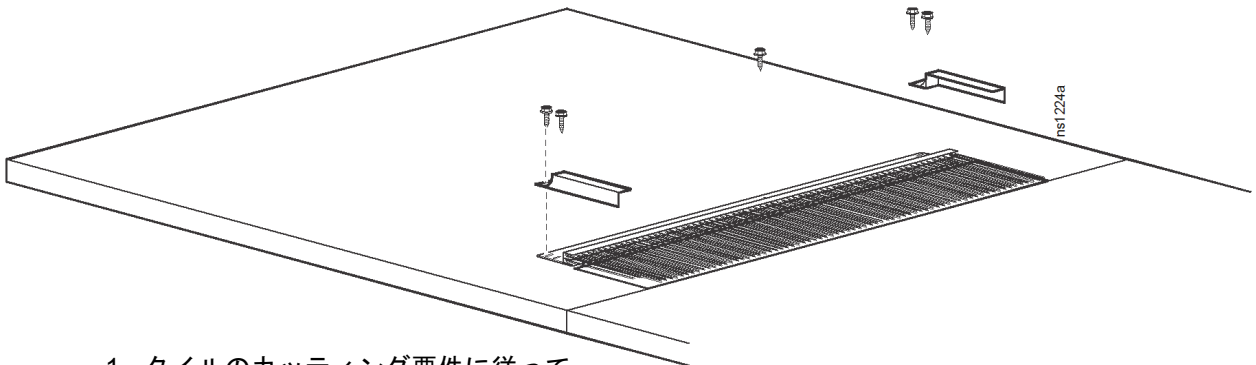


## KoldLok Extended Grommet (AR7740)

注意：フロアタイルのカッティング要件については、「フリーアクセスフロアのタイルのカッティング」(2ページ)を参照してください。

### セルフタッピンネジの取り付け方法

注意：KoldLok Extended Grommetを運用中のデータセンタに設置する場合は、フロアタイルを取り外してデータセンタ環境の外でグロメットの取付を行い、この後でフロアタイルとグロメットをフリーアクセスフロアに戻してください。



1. タイルのカッティング要件に従ってフロアタイルのカットアウト部分サイズを判断し、タイルのカットアウトを作ります。
2. フランジがフロアタイルに載り、グロメットフィラメントがカットアウト部を覆うようにして、グロメットをケーブルカットアウト部に配置します。
3. フランジがどのカットアウトトリムにも重なっていないことを確認します。

注意：グロメットの位置がどうしてもカットアウトトリムの上に重なってしまう場合は、床取付キット**E**を使用してグロメットを取り付けます。「床取付キットの取り付け方法」(8ページ)を参照してください。

4. グロメットを配置したら、グロメットフランジ中央にある事前にネジ切りされたネジ孔にNo. 10セルフタッピンネジ**B**を入れて締め、グロメットをフリーアクセスフロアに取り付けます。  
pre-drilled screw hole on the grommet flange to attach the grommet to the raised floor.
5. エンドキャップ**F**のいずれかのネジ穴とグロメットフランジ端のネジ穴をそれぞれ合わせます。No. 10セルフタッピンネジ**B**でエンドキャップとフランジをフロアタイルに取り付けます。これらのネジ穴では、エンドキャップをフランジに対して垂直にも水平にも取り付けられます。

注意：エンドキャップ**F**の内壁にフランジを取り付けた場合、このグロメットでは600 mmフロアタイルの長さの開口部をシールできます。エンドキャップをフランジから伸ばして取り付けた場合、グロメットは24インチフロアタイルの長さの開口部をシールできます。

6. 他のエンドキャップ**F**でも手順4を繰り返します。
7. 残りのNo. 10セルフタッピンネジ**B**でグロメットを取り付けます。
8. 取付作業中に出された残余物などがあれば片づけます。

## 床取付キットの取り付け方法

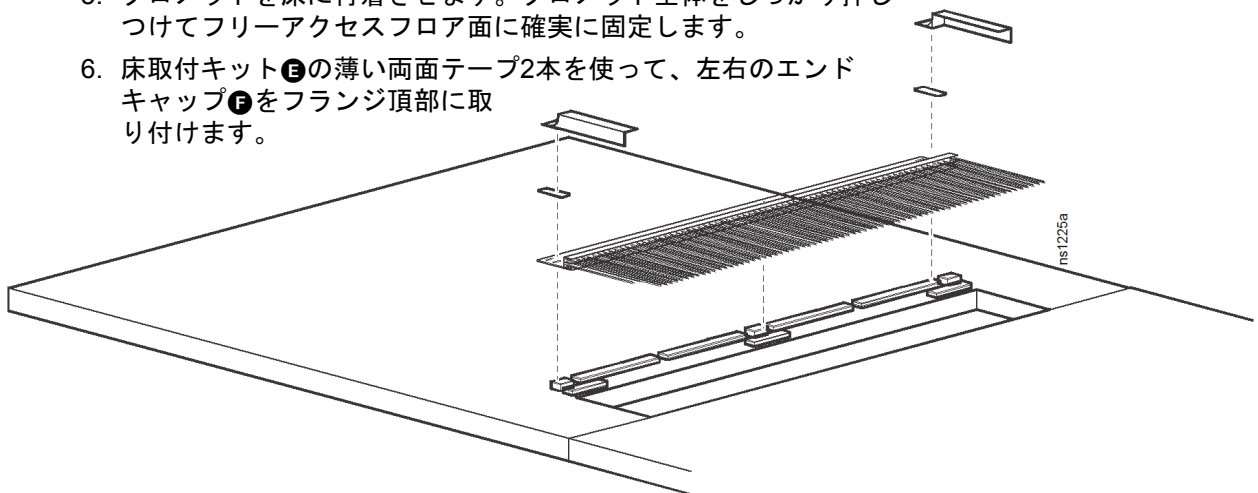
### ▲ 注意

#### 蓄積エネルギー

適切な静電放電を確保するために、フランジの底面にESDパッドを取り付ける必要があります。

これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷または機器の損傷につながるおそれがあります。

1. 床取付キット⑤のESDパッドから粘着テープの一方の裏紙をはがし、フランジ底面のコーナー外側中央部にキットを取り付けます。
2. 5インチ長の床取付キット④4本から粘着テープの一方の裏紙をそれぞれはがします。ブラシホルダからもっとも離れたフランジ背面の縁に沿って、4本の床取付キットを各ESDパッドの間に取り付けます。
3. 5インチ長の床取付キット③3本から粘着テープの一方の裏紙をそれぞれはがします。この3本の床取付キットを各ESDパッドの上に取り付けます。
4. 7本すべての床取付キットの粘着テープからもう片方の裏紙をはがします。グロメットをフロアタイルのケーブルカットアウト部に配置します。
5. グロメットを床に付着させます。グロメット全体をしっかりと押しつけてフリーアクセスフロア面に確実に固定します。
6. 床取付キット⑥の薄い両面テープ2本を使って、左右のエンドキャップ⑦をフランジ頂部に取り付けます。



7. カットアウト部分がフリーアクセスフロアタイルの取付面（エンドキャップからフランジの端まで）の全長にわたる場合は、必ずエンドキャップの外側端がフロアタイルの端にぴったり合うように取り付けてください。



## KoldLok Extended Grommet AR7740の修正

KoldLok Extended Grommetは、サイズが大きくなあるいは独特の形状の開口部をシールする場合には修正できます。金属製フィラメントチャンネルとグロメットフランジは任意の長さにカットできます。

### 注意

操作できない機器

- フリーアクセスフロア環境内では決して金属のカットを行わないでください。
  - カットにより浮遊金属片が発生します。
- これらの指示手順に従わない場合、機器の損傷につながるおそれがあります。

1. ハンマー（または木槌）と杭で、グロメットフランジから金属製フィラメントチャンネルのいずれかを希望の長さ分打ち出します。
2. カット用のラインを成形します。
3. ボルトカッターを用いて、金属製フィラメントチャンネルをカットしこの部分を取り外します。
4. 金属製フィラメントチャンネルの両端をペンチで内側に折り込み、ブラシの毛の部分が散逸しないようにします。カット面やコーナーの粗い部分や尖った部分をヤスリで平らにします。
5. もう一つの金属製フィラメントチャンネルでも1~4の手順を繰り返します。
6. 空のグロメットフランジにカット用の印をつけます。のこぎりでフランジをカットします。
7. フランジのカット面をヤスリで平らにします。
8. ハンマー（または木槌）と杭を用いて、金属製フィラメントチャンネルをグロメットに再配置します。この際、金属製フィラメントチャンネルの端がフランジチャンネルの端から飛び出さないように戻してください。

# 1年間の工場保証

本限定工場保証内でSchneider Electricにより提供される限定保証は、お客様が通常の業務を対象に商用または産業用として購入された製品のみ適用されるものです。

## 保証の条件

Schneider Electricは、お客様のご購入日から1年間、製品に原材料や作業工程の欠陥がないことを保証します。保証期間内のSchneider Electricの責任は、弊社単独の自由裁量による欠陥製品の修理または交換に限定されます。その他の損害、たとえば事故、過失、操作誤り、または製品の改竄などによる損傷に対しては、この保証はまったく適用されません。本項に記載の欠陥製品または部品の修理や交換により元の保証期間が延長されることはありません。本保証下で供給される部品は、新品または工場で再製造されたものである場合があります。

## 第一購入者の保証

本保証は製品のユーザー登録を行った購入者にのみ適用されます。本製品の登録は、Webサイト ([www.schneider-electric.com](http://www.schneider-electric.com)) から行ってください。

## 適用除外

申し立てられた製品の欠陥がAPCのテストまたは検査の結果存在しないと判明された場合、あるいはお客様または第三者の誤用、過失、不適切な設置、テストによるものであることが判明した場合、Schneider Electricは保証下での責任を負わないものとします。さらに、Schneider Electricは承認されていない修理、不正改造の試み、不適切な電源電圧または接続、不適切な現場の動作条件、腐食環境、Schneider Electric指定保守担当者でない者による修理/据付/立ち上げ、場所、運用用途、使用の変更、天災、不可抗力、火災、盗難、またはSchneider Electric推奨手順または仕様に反する据付、Schneider Electricシリアル番号が改変、摩損、削除された場合、あるいは意図された使用の範囲を超える原因によるものに対しては保証下での責任を負わないものとします。

この契約に基づき、またはここに記載された条件に同意の下で購入、サービス、設置をした製品に対し、法律の運用その他により明示的または黙示的に適用される保証事項はありません。**SCHNEIDER ELECTRIC**は、製品の市場性、満足度、特定の目的に対する適合性に関する黙示的な保証についてはすべてその責任を負わないものとします。**SCHNEIDER ELECTRIC**の明示的な保証が拡大、縮小、または影響を受けることはなく、本製品に関して**SCHNEIDER ELECTRIC**が提供する技術面その他のアドバイスまたはサービスからはいかなる義務または責務も派生しないものとします。以上の保証および賠償は限定的なものであり、その他の保証や賠償すべてに代わるものです。上記の記載の保証が当該保証のあらゆる不履行に対する**SCHNEIDER ELECTRIC**の唯一の責務であり、購入者の法的救済です。**SCHNEIDER ELECTRIC**の保証は購入者のみに適用され、いかなる第三者にも拡大適用されません。

いかなる場合も、製品の使用、サービス、または設置から生じたいかなる間接的、特別、結果的、懲罰的損害についても、その損害が契約の記述または不法行為のあるなしを問わず、過失または怠慢、厳格責任に関係なく、**SCHNEIDER ELECTRIC**が事前にそのような損害の可能性を通知したかどうかに関わらず、**SCHNEIDER ELECTRIC**、同社幹部、取締役、支社、従業員はその責任を負わないものとします。特に**SCHNEIDER ELECTRIC**は、利益の損失、設備の損傷、設備の使用不能による損失、ソフトウェアの喪失、データ喪失、代替費用、第三者の主張など、いかなる損害に対しても責任がないことをここに明言します。

**SCHNEIDER ELECTRIC**のセールスマン、従業員、または代理店のいかなる者も本保証の条件を追加したり、変更したりする権限を持ちません。保証の条件は、たとえ変更される場合も、**SCHNEIDER ELECTRIC**の役員と法務部の署名により書面によってのみ変更可能です。

## 保証の請求

保証の請求に際しては、Webサイトの「サポート」ページ ([www.schneider-electric.com](http://www.schneider-electric.com)) の Schneider Electricカスタマサポートにご連絡ください。ページ上部の国選択プルダウンメニューから該当する国を選び、[Support] (サポート) タブを選択すると、お住まいの地域のカスタマサポートのご連絡先が記載されています。

# ワールドワイドカスタマサポート

本製品および他の製品に関するカスタマサポートは[www.schneider-electric.com](http://www.schneider-electric.com)で提供されています。

カスタマサポートおよび保証に関する情報は、Webサイト  
[www.schneider-electric.com](http://www.schneider-electric.com)でご利用いただけます。

© 2016 APC by Schneider Electric。全著作権所有。NetShelterはSchneider  
Electric, S.A.S.の商標です。

**990-3251A-018**  
**5/2016**